

令和8年度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜2月選抜
学力検査問題

小論文

注意事項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて1ページ、下書用紙は1ページ、解答用紙は4ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	小論文
-----	-----

令和 8 年 度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜 2 月選抜
試 験 問 題

(1 枚の 1)

問

教師は学習指導や生徒指導など様々な教育活動を日々行っている。教師自らが、それらの実践をふり返ることは、広く「省察」と呼ばれている。「省察」は、教師や学校組織の力量の向上に必要と言われているが、学校現場ではそのための時間がとりにくく、また具体的なやり方がわからないこともある。そもそも「省察」とは、どのような場合に行えばよいのだろうか。ひとつの具体例として、担任をしているクラスの児童・生徒が、学校を休みがちになった場合を考えてみよう。夏休み明けから、あなたのクラスのある子どもが体調不良を理由に休みがちになり、1ヶ月程経った状況を想定して、以下の問いに答えなさい。

①この状況で、あなたが担任であれば、「省察」の必要性をどのように考えるか。②もし「省察」を行うなら、具体的にどのようなことを対象にして行うか。また、③学校組織の観点から見て、この事例を「省察」する必要性を、あなたはどのように考えるか。④「省察」と「実践」の関連について、あなたは自らの経験を踏まえてどのように考えるか。

以上 4 点について 1600 字以内であなたの考えを述べなさい。